

私の気に入り おうちコウボパン muku -むく- **Moriyaナビ**
丁寧に焼き上げる酵母パン専門店が開店しました！

自家製のコウボでゆっくり丁寧に焼きあげた美味しいパンのお店が小手指駅南口に8月24日に開店しました。

にこやかなご夫婦が心を込めて焼きあげるパンは、深い味わいがあり、小さくてもずっしりとしていて食べ応えがあります。材料は厳選していますので、お子様にも安心です。店内は弊社が無垢の木を使って工事させて頂きました。素朴でナチュラルな雰囲気は、「muku」のパンによく似合っています。

お近くの方はもちろん、少し遠い方もたまには足を延ばして是非、味わってみてください。



掲示板

「地域感謝デー」のお知らせ

包丁研ぎ／まな板削り／端材／焼きそば

地域の皆様への感謝の気持ちを込めて、今年も地域感謝デーを開催します。



山田勝徳さん(有山勝)

しっかり仕上げるタイル職人
研究熱心な「やまかっちゃん」

明るく快活で、信頼できるタイル屋さんです。お風呂、玄関、台所、外壁など、丁寧な下地づくりからタイル貼りまで、一人

で仕上げます。仕事のきれいさは太鼓判。美的センスがよく、タイルの大きさや色などのさりげないアドバイスも的を射て、お客様からの信頼も厚いです。

左官屋さんだった父親の仕事を子どもの頃から見ていて、自然とこの道に入って35年。「まだまだですよ」と、やまかっちゃんは納得のいく仕事を続けます。

趣味はゴルフ。職人仲間と一緒にグリーンに出ると、スポーツをしながら自然に癒され、仕事への活力も湧く大事な時間だそうです。



発行:(株)守屋工務店 Moriya通信編集部
〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2
TEL 042-322-5438 FAX 042-325-1011
E-mail moriya-koumuten@bd.wakwak.com

Moriya No.43 2014.10 通信

—住まいの玉手箱—



府中市H邸

p4-5 安心して暮らせる
家へのこだわり

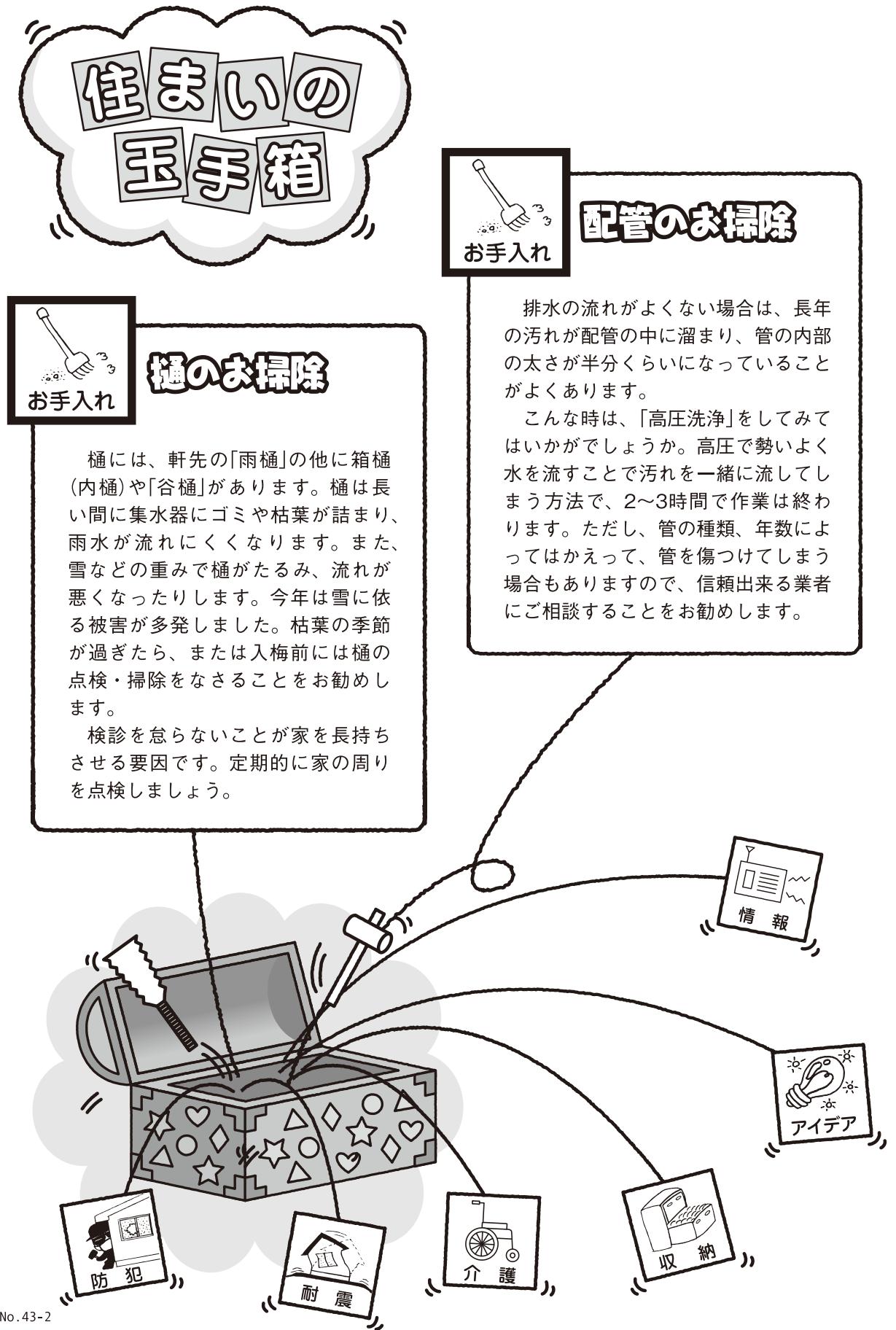
p2 住まいの玉手箱

p3 道具の話「指金」

p6-7 みんなのコラム
会ってみたい歴史上の人物は?
ホーミー教室

p8 守屋ナビ 「おうちコウボパン muku -むく-」
掲示板 Moriya 人・紹介

(株)守屋工務店 〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2 TEL 042-322-5438
<http://www.moriyakoumuten.com>



No.43-2

道具の話

指金

住まいづくりに関連する「道具」についてご紹介します。

「道具は命」という言葉がありますが、職人は仕事によって様々な道具を使います。「道具の手入れも仕事のうち」などとも言い、昔からいろいろな道具が大切にされてきました。時代と共に消えていった道具や、姿、形が変わっていった道具もあります。

さあ、今回は「指金」をご紹介します。

指 矩・差金とも表記し、曲尺、かねじやく まがりがねともいわれている。L字型の金物に目盛りを刻んだ定規で、長さや角度の計測に使うほか、部材の仕口の切り墨を出す時に使われる。一般的な指金の長手は1尺5寸、妻手は7寸の目盛が刻まれ、幅は5分であるが、地方により長さや幅が違う物もある。材質はステンレスで古くは玉鋼や真鍮の物も使われていた。

表裏には各種の目盛りが刻まれており、表面には尺またはセンチの目盛りで、裏面には1寸の $\sqrt{2}$ 倍に相当する裏目や、直径を測り円周を出す事の出来る丸目、家屋建造の際に吉凶判断の尺度に使われた唐尺の目盛り(財・病・離・義...)、ほぞ穴の深さを測る目盛り等の多くの目盛りが刻まれている。

この指金1本で複雑に組み合う木造建築の接合部分を作り上げていく技術を規矩術といい、この極意は奥が深く大工と言えども習得するのは至難である。

政府は尺貫法を大正10年に廃止し、メートル法に切り替えたが、皆がそのまま使い続けた為に、尺貫法を用いると法律違反とし罰則を与える強行策に出てきた。この計量法の在り方に疑問を強く持った永六輔氏が尺貫法復権を呼びかけ、大々的に運動を行った。それにより尺貫法の使用は默認され、処罰される事はなくなっていました。今でもこの単位を使えるのは、永六輔氏のお陰と言っても過言ではない。

No.43-3



開放的なリビングの
吹き抜け

無垢の床板は世界三大銘
木の「ミャンマーチーク」
を使用

吹き抜けと繋が
っている多目的
スペース。
将来的には建具
をはめてプライ
ベートな空間に
もなります

玄関から直接キッチン
に入れるので、何かと
便利です



踏み板だけのストリップ階
段で風と光を確保。
階段の手すり棒を3本取付
けて、大人用・子供用・落
下防止としました

キッチンカウンターの下
には壁の厚みを利用して
雑誌や小物置きに



新築

府中市H邸

安心して暮らせる 家へのこだわり

今回は、アトリエRAUM設計・弊社施工の府中市のH邸をご紹介します。
当たり前のように安心して暮らせる家。それを追求したい建て主Hさんの想いに、
設計士、職人、そして弊社社員がつながって、完成しました。
「120%の出来！」は、みんなの想いの結晶です。

晴れた日にはベランダ
から富士山
が見えます

化粧台のカウンターは獨
特の艶と味わいのある
「ふき漆」で木材を保護

お客様手作りの縄ばし
ごで寝室とロフトを行
き来出来ます

西側の窓には
緑のカーテン
が涼しげです



小上がりの和室。
縁なしの和紙の素材
で出来た畳表です

設計者コメント

アトリエRAUM
一級建築士事務所
矢賀部 雅子

飽きのこないほっとできる空間づくり

“石橋を叩いても渡らない”という超慎重派のHさん
と大雑把な設計者(私)との家づくり顛末記は1冊の本
になる位でした。

太陽高度に始まり断熱機能、構造強度、仕上げ材
や塗装の色など…。お勉強熱心な建て主は次から次
へと難問を出してくるのです。それを一つ一つクリ
アしながらも自分のポリシーである“光と風と水にこ
だわって、つくりすぎず飽きのこないほっとできる
空間づくり”を守り、できあがった家に「120%の出来
です」の言葉をいただきホッ！

お客様の声

府中市 H様

「家=生活する場」の基本を大切に

限られた空間を使いきることにこだわり抜いた家
ですが、実は本当にこだわったのは、生活する場と
しての基本を大切にしてくれる方に家づくりをお願
いしたことでした。

設計士さん、工務店さんにはとても恵まれました。
施工の超スローペースに辛抱強く合わせて頂けたこ
とも。住みはじめて、思い描いたことが充分に活か
されていること、それと同じくらい、当たり前によ
うに安心して暮らせるということの有難さを感じて
います。本当にありがとうございました。



会ってみたい 歴史上の人物は？

熱血教師
[会長]
守屋辰雄



軍師 官兵衛

乱世戦国時代に軍師として生き抜き、天下統一の為に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の武将の元、知恵を働かせて、戦わずして味方にする思考力、判断力、行動力に感心させられる。僅か32歳にして秀吉に見込まれ、「命を無駄にしては成らぬ」と命の尊さを世に示して居る。何時の時代でも日本の将来のために命をかけて生涯をおくった仕掛け人がいる。

輝く女性の感性
[設計]
井上佐智子



伊能忠敬

江戸時代に日本の海岸線をくまなく歩いて日本地図を作ったという人です。50歳後半から測量の旅に出て15年かけて全国を歩ききったそうです。人生50年という時代に測量の機材もなく……体力はもちろんやる遂げるという強い意志と根気、正確な地図を作るための緻密な頭脳、また隊員たち(時には100人)から信頼される人柄などを併せ持った人だったのかなあと想像しています。

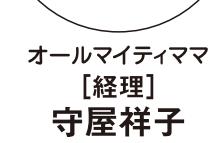
上杉謙信

「私欲で戦わない男」と言われ、義を重んじ子煩惱であったところが好きで、今の社会での義の大切さについて話してみたい。殺生せずに國の平和をもたらすにはどうしたらよいかという悩みは、現代にも通じるものがあると思う。又、偽ったり、だましたりなどせず、正々堂々と戦うという考えも、現代の経済社会に最も大事なことと思う。



カルロ・ドルチ

海外、国内の色々な芸術家に会いたいです。その中でも、イタリア、フィレンツェの画家、「カルロ・ドルチ」。国立西洋美術館で展示されている「悲しみの聖母」を制作している様子を見てみたいです。どの様な想いで描いたのか、聞いてみたいです。いま日本で展示され癒しを求めて多くの人々が、この絵の前に幾度も立ち止まっていることを伝えたいです。



オールマイティママ
[経理]
守屋祥子



熱意とこだわりの仕事師
[大工・設計監理]
立花慶次

左甚五郎

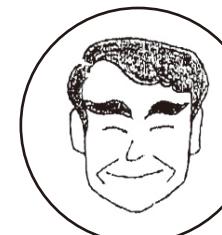
左甚五郎の有名な作品に日光東照宮の「眠り猫」があります。他にも多くの彫刻品があり、彼の彫った龍が夜に田畠を荒らす為、いつしか鎖が架けられたという伝説がある程、リアルに彫られています。しかし、数多く作られた作品の年代には三百年もの開きがあるので、左甚五郎の作品は何だったのかを本人に会って確認したいです。

クレオパトラ

絶世の美女といわれていますが、その美しさは、エジプトを守るために彼女が人生をかけ自分自身を磨き上げた結果なのだと思います。語学、経済、文化、政治を学び、深い知性と機知に富んだ会話、たくみな恋のかけひき、夢と野望に向かいどんなときも命がけで挑む勇気、度胸！それらすべてに「最高を生きる美しさ」を感じます。逢って話をしたい、そして…



設計の匠
[設計課長]
鈴木浩司



仕事の魔術師
[営業主任]
今井治彦

ヤマトタケル

古代日本の神話に出てくるヤマトタケルは、父景行天皇の皇子として生まれるが、父との確執で側から遠退けられ、大和平定のため戦にだされる。天皇家に伝わる三種の神器の一つ草薙剣を持って、日本本土の半分以上を平定し最強の英雄となる。最後は大和に帰ることなく病に倒れて魂は白鳥になって飛び去ったという神話が残っている。



希望の星
[大工見習い]
山口雄己

老子

僕は、哲学に興味があり、「老子」の「無為自然」という思想が好きです。これは「なるようになる」と言う意味で、何かに直面した時にこう思うとあたふたしてもしょうがない、と思わせてくれる所以好きです。一見諦めのように思えるのですが、頑張ってなるようになったのと何もしないでなるようになった結果には違いがあると思うので決して諦めではないと思います。本人に会って直接話を聞いてみたいです。



住まいは家庭生活の基盤となる大切な器です。
当社では住まいの役割を正しく理解するための「ホーミー教室」を開いております。
このコーナーで皆さんも一緒に住まいの本質を考えてみませんか？
そこで問題です!!

- Q 住宅は、計画がよくないために、壊れる前に壊されていますが、その年数は何年位でしょうか？

- (A) 約11年 6ヶ月
(B) 約16年 8ヶ月
(C) 約23年 10ヶ月

A 正解は(B)です。

住宅は木造の在来工法であれば、メンテナンスしだいで50年以上の耐用年数はあります。

それなのに長く住むことなしに転居もしくは、壊されてしまうのは、計画(プランニ

ング)に原因があるからです。
住宅建築は、一生における大きな事業です。流行やデザインのみに惑わされず、「住宅の役割」を理解し、将来を見据えた計画をじっくりと時間をかけて行うことが重要です。資源を無駄にしないためにも、住宅の寿命をできる限り延ばしてあげたいものです。